

石榑トンネル開通

八日市～桑名間が車で約1時間30分に短縮!!



国道421号線は、滋賀県の近江八幡市と三重県の桑名市を結んでいるが、これまで県境の「石榑峠」は道幅が狭く、交通の難所だった。しかし先月26日、念願のトンネルが完成した。東近江市八日市から車を走らせると、1時間半あまりで伊勢湾に出られるようになった。東近江市や近江八幡市を中心に経済や文化に大きな変化が期待される。今回はまず桑名に注目し、特集を組んでみた。



桑名って?

桑名は徳川家康の重臣・本多忠勝が開いた城下町で、歴史に名高い忍者、服部半蔵ゆかりの地でもある。明治時代に、日本の近代建築の基礎を築いたジョサイア・コンドルの設計した「六華苑」(国の重要文化財・旧諸戸邸)が保存され、僧侶・魯縞庵義道の考案した不思議な鶴の折り紙が伝えられている。

桑名は地球の真ん中です!

▲九華公園近くにある看板

1 桑名の実業家、二代目諸戸清六の邸宅として1913(大正2)年に竣工。洋館部分は、鹿鳴館などを設計した「日本近代建築の父」と呼ばれたジョサイア・コンドルの手がけた。

六華苑 (旧諸戸清六邸)

◆三重県桑名市
大字桑名字鷹場663-5
◆TEL: 0594-24-4466
◆休苑日: 月曜、祝日の翌日

2 松平楽翁公の奨励により作り始められたという安永餅。焼餅の香ばしさと上品な甘さに仕上げた粒あんが、旅の疲れを癒やしてくれる。安永立場あたりでは、茶店が軒を争い名物の安永餅を旅ゆく人々に売っていたそう。

安永餅本舗 柏屋

◆三重県桑名市中央町1-74
◆TEL: 0594-22-1197 ◆定休日: 木曜日

桑名探訪に出かけてみよう!

東海道五十三次の宿場町として、そして城下町として古くからにぎわってきた桑名の町。ここには今でも古い常夜燈や城壁などが点在し、歴史の面影を色濃く残している。一方、忘れてならないのがハマグリ料理などの「海の幸」。さあ! トンネル開通で近くなった桑名探訪に出かけてみよう。



歌川広重『東海道五十三次・桑名』
浮世絵には、桑名城を背景に宮宿と結ばれていた七里の渡しの帆掛け舟が描かれている。

桑名市博物館

松平定信や桑名藩関連資料など、幅広いジャンルを網羅。市の無形文化財「桑名の千羽鶴」も展示されている。

貝増商店【赤須賀店】

◆三重県桑名市赤須賀市場町西86-8
◆TEL: 0594-22-4908 ◆定休日: なし

寺町通り商店街

3と8のつく日に開催される名物朝市「三八市」。新鮮な野菜や魚介類、総菜を求めて多くの市民や観光客でにぎわう。

はまぐりプラザ

漁業に対する意識の向上や、漁業を生かした地産地消の推進を図ることを目的とした市の複合施設。昼時のみ営業のお食事は、地元のアサリやハマグリを使った料理が食べられる。(要予約)

はまぐりプラザ

◆三重県桑名市大字赤須賀86-21
◆TEL: 0594-22-6010
◆定休日: 火曜日、第1、3日曜日

3

▲桑名城城壁

約500年にわたり、創建当時の石垣がそのまま残されている。市の文化財に指定されている。

▲七里の渡し

旧東海道熱田宿から桑名宿まで海路七里あったことから「七里の渡し」と呼ばれ、大鳥居はここから伊勢路に入ることから「伊勢国一の鳥居」と称されている。

4

蟠龍櫓 (ばんりゅうやぐら)

桑名城には51の櫓があったといわれ、七里の渡しに面して建てられたこの櫓を、かつて東海道を行き交う旅人たちは目にしたことであろう。

お食事処 歌行燈【本店】

◆三重県桑名市江戸町10
◆TEL: 0594-22-1118
◆定休日: なし

7

貝増商店【赤須賀店】

◆三重県桑名市赤須賀市場町西86-8
◆TEL: 0594-22-4908 ◆定休日: なし

8

寺町通り商店街

3と8のつく日に開催される名物朝市「三八市」。新鮮な野菜や魚介類、総菜を求めて多くの市民や観光客でにぎわう。

9

赤須賀漁港

操業はハマグリ資源保護のため、週に3日4時間ほど行われる。

10

はまぐりプラザ

漁業に対する意識の向上や、漁業を生かした地産地消の推進を図ることを目的とした市の複合施設。昼時のみ営業のお食事は、地元のアサリやハマグリを使った料理が食べられる。(要予約)

はまぐりプラザ

◆三重県桑名市大字赤須賀86-21
◆TEL: 0594-22-6010
◆定休日: 火曜日、第1、3日曜日

注釈で読む週刊英語学習紙

毎日ウィークリー 1ヶ月 970円

じて届く plate ホームベース(ここでは捕手のこと) (be) determined 心に決める on the fly ノーバウンドで Rose Garden ホワイトハウス内の庭 broadcaster アナウンサー in quite some time 久しぶりに of one's home state 地元の州の sitting 現職の (be) greeted 迎ええられる(後出 greeting はあいさつ) with a standing ovation

毎週土曜、自宅に届くから英語学習の習慣が身に付く

伝わる波動、つながる心。

正しい情報の伝達と、思いやりのある心のかよいう広告をつくります。

お求めは **しがまいこう** TEL 077-522-2603 FAX 077-522-2692

Shiga MAIKO 総代理店 滋賀毎日広告社 大津市打出3-16(毎日新聞大津支局内1F) 〒520-0806